

令和6年度

教育活動に関する  
アンケートの  
まとめ

松田中学校

## 1 アンケート結果（P 6, 7）について

アンケートに回答していただく際の選択肢は、「①よくあてはまる」「②ややあてはまる」「③あまりあてはまらない」「④全くあてはまらない」でした。

### ○平均値について

平均値は、選択肢の「①よくあてはまる」を4ポイント、「②ややあてはまる」を3ポイント、「③あまりあてはまらない」を2ポイント、「④全くあてはまらない」を1ポイントで計算して算出しました。中間ポイントは2.5ポイントとなります。

### ○肯定率について

肯定率は、回答者のうち「①よくあてはまる」「②ややあてはまる」を選択した人数の合計の割合です。

## 2 学校生活アンケート（生徒・保護者・教職員）に対する分析と方向性

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                               |   |                                             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---------------------------------------------|
| 学<br>校<br>全<br>般                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 教育方針                                                                                                                                                                                                                          | 1 | 学校は、松田中学校の教育方針をわかりやすく伝えている。                 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 肯定率は、全学年生徒が 86.0%、全学年保護者が 87.3%であった。これらの評価には、学校教育目標を「自立」「創造」「共生」というキーワードでわかりやすく提示していることや、生徒に対しては朝会などで折に触れて発信していることが起因していると考えられる。より多くの保護者に教育方針を伝え、教育活動について理解を得られるように、次年度も学年・学級懇談会、学校・学年・学級だより、学校ホームページなどを活用して、教育方針の周知に努めていきたい。 |   |                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 充実感                                                                                                                                                                                                                           | 2 | 生徒は、いきいきと学校生活を送っている。                        |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 肯定率は、全学年生徒が 81.5%、全学年保護者が 86.1%であったが、学年間で割合に差があった。どの生徒も目的意識をもっていきいきと学校生活を送れるように、生徒一人ひとりに寄り添った組織的な支援・指導を続けていきたい。                                                                                                               |   |                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 家庭連携                                                                                                                                                                                                                          | 3 | 学校は、学校の様子を学校・学級だより、学校ホームページ等で積極的に家庭へ知らせている。 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 肯定率は、全学年生徒が 78.0%、全学年保護者が 89.4%であった。保護者については、学校ホームページでの発信が浸透したことが高評価につながっていると考えられる。今後も学校生活について学校ホームページや学校・学級だより等で積極的に発信して、教育方針・教育活動について家庭への周知・理解を図るとともに、生徒に対しては学校が家庭に発信していることを伝えていきたい。                                        |   |                                             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 環 境                                                                                                                                                                                                                           | 4 | 学校は、安全に配慮した環境になっている。                        |
|                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                               | 5 | 学習面にかかわる施設・設備はよい環境となっている。                   |
| 肯定率が昨年度よりも全学年生徒は4、5ともに約13ポイント、全学年保護者は4が約14ポイント、5が約4ポイント増加した。昨年度に続き大規模改修中だが内装工事が中心であり、大きな音がでる工事は、夏季休業中や休日に集中させたり、階毎にまとめて工事を進めたりしたことで学校生活の影響を最小限にできたことが影響していると考えられる。また、内装工事により下駄箱や教室のロッカー、黒板などが改善され、生徒が生活しやすくなったことも要因として挙げられる。安全面で気になる箇所へのアンテナを広く高く張り、安全な環境で教育活動を行えるよう関係機関と調整を図るとともに、学習面にかかわる施設・設備が充実するよう求めている。 |                                                                                                                                                                                                                               |   |                                             |

|      |                                                                                                                                                              |    |                                            |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------|
| 学校全般 | 安全                                                                                                                                                           | 6  | 学校は、地震や火災等への対応や防災訓練などの準備を適切に行っている。         |
|      | 肯定率が、全学年生徒は 93.0%、全学年保護者は 87.0%を超えた。教職員対象に今年度も警察官を講師に招いて不審者対応研修をしたり、生徒を対象に新しく、休み時間に地震が発生した場合を想定した訓練を実施したりした。地震、火災、不審者対応の訓練について、次年度もより具体的な状況を想定した訓練を実施していきたい。 |    |                                            |
| 生徒指導 | あいさつ                                                                                                                                                         | 7  | 学校は、あいさつがきちんとできるように指導をしている。                |
|      | 生徒、保護者ともに平均値は 3.0 ポイントを上回った。今後も明るいあいさつが飛び交う学校をめざし、継続的に指導していきたい。                                                                                              |    |                                            |
|      | きまり                                                                                                                                                          | 8  | 学校は、校則やきまりを守って生活するように指導している。               |
|      |                                                                                                                                                              | 9  | 教師は、誰かが学校の決まりを守らないときなど、注意している。             |
|      | 生徒、保護者ともに平均値が 3.0 ポイントを上回った。しかし、学年間にポイントの差があるので、今まで以上に学年・学級間の連携を図り、同一步調で指導していきたい。                                                                            |    |                                            |
|      | いじめ                                                                                                                                                          | 10 | 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。                |
|      |                                                                                                                                                              | 11 | 教師は、いじめなどのない楽しい学校・学級づくりに取り組んでいる。           |
|      | 平均値が生徒は 3.0 ポイントを上回っているが、保護者は一部 3.0 ポイントを下回る結果となった。また、学年間にポイントの差があるので、今まで以上に学年・学級間の連携を図り、同一步調で指導していきたい。                                                      |    |                                            |
|      | 教育相談                                                                                                                                                         | 12 | 学校は、生徒の悩みや相談について教師やカウンセラーに相談しやすい雰囲気になっている。 |
|      | 各学年生徒、保護者とも平均値が 3.0 ポイントを下回った。次年度は生活アンケートの内容を改善し、生徒が教師に相談しやすい環境づくりに努める。また、スクールカウンセラーによる相談の案内や予約方法を再検討し、相談しやすい雰囲気をつくっていききたい。                                  |    |                                            |
| 特別活動 | 読書                                                                                                                                                           | 13 | 学校は、朝読書等の時間を活用して積極的に読書に取り組んでいる。            |
|      | 生徒、保護者ともにおよそ 90～94%以内に留まり、教職員の 100%とは、6 ポイント以上の差がある。教職員も一緒に読んだり、生徒会専門委員会の活動を通して、書籍の紹介をしたりするなど、読書の楽しさが伝わる情報発信をすることに努めたい。                                      |    |                                            |
|      | 生徒会                                                                                                                                                          | 14 | 生徒会本部、学級委員会、専門委員会は主体的に活動している。              |
|      | 生徒、保護者ともに肯定率は 90.0%を上回った。各委員会で生徒が主体的に活動している。活動の質がさらに向上するように、教師側の指導の改善を進めていきたい。                                                                               |    |                                            |

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |    |                                            |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------|
| 特<br>別 | 学校行事                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 15 | 生徒は、体育祭、文化活動発表会、遠足などに、いきいきと主体的に活動している。     |
|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 16 | 教師は、生徒の意欲を大切にした指導をしている。                    |
| 活<br>動 | 15 については平均値 3.0 ポイントを上回っている。一方、16 の平均値は 2 学年の生徒がやや低く、1 学年の保護者の回答が 3.0 ポイントを下回った。生徒は教師が生徒の意欲を大切に指導していると感じているが、保護者はあまり感じておらず、生徒と保護者の間でギャップが見られる。行事を実施する当日までのプロセスで生徒がどのように意欲的に取り組んできたかを、学級通信や学校ホームページ等を活用して積極的に発信していきたい。                                                                                                                              |    |                                            |
|        | 部活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 17 | 生徒は、部活動にいきいきと主体的に活動している。                   |
|        | 全体的に平均値は 3.0 ポイントを上回っているが、保護者の評価が生徒に比べて低い傾向にある。部活動は教育課程外の活動のため、その充実や質の向上には、保護者や地域指導者との関わりを一層重視して運営の改善を図ることも重要だと考える。部活動についてのイメージが生徒と保護者で異なることも考えられるため、学校から部活動のあり方について引き続き情報発信していきたい。                                                                                                                                                                |    |                                            |
|        | 地域活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 18 | 学校は、ボランティア活動や地域活動に積極的に参加するように指導している。       |
|        | <p>コロナ禍を経て、地域との交流が希薄になっていることが生徒・保護者・教職員の肯定率の低さに表れていると考えられる。次年度からは本校もコミュニティ・スクール※となり、「地域とともにある学校づくり」を目指すこととなる。肯定率が低いからといってコロナ禍前に戻すことを目指すのではなく、学校運営協議会をとおして、学校と地域とで育てたい子ども像を共有し、それに基づき、現在行っている取り組みを生かしながら地域との交流を少しずつ深めることで生徒の成長を図れるようにしていきたい。</p> <p>※コミュニティ・スクール＝学校運営協議会を設置した学校のことで、学校と地域住民などが力を合わせて子どもたちのより良い環境づくりに取り組む「地域とともにある学校」をめざすための仕組み。</p> |    |                                            |
|        | キャリア教育                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 19 | 学校は、「将来の生き方やありたい自分の姿」を主体的に考える生徒を育てようとしている。 |
|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 20 | 学校は、進路説明会など進路に関する適切な情報提供を行っている。            |
|        | 19 については、教職員の評価に比べて生徒と保護者の評価が低い結果となった。キャリア教育の基盤となるカリキュラムが整備されたので、保護者と生徒に対して何がキャリア教育に該当する学習であるかをしっかり伝えていく必要がある。20 については学年が上がるにつれて上がる傾向にある。これは、中学校卒業後の進路に関する情報提供が、学年が上がるに従って増えることが影響していると考えられる。保護者の評価は生徒よりも低いので、保護者にも情報を届けていきたい。                                                                                                                     |    |                                            |

|                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |                                            |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|--------------------------------------------|
| 道徳                                                                                                                                                                                                                                                                       | 授業                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 21 | 生徒にとって、道徳の授業は、自分の生き方の参考になっている。             |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          | 思いやり                                                                                                                                                                                                                                                                                | 22 | 学校は、思いやりの心や命を大切に思う心を大切にしている。               |
| 21 については、保護者の全学年平均値が 3.0 ポイントを下回ったが、教職員と全学年生徒の平均値は 3.0 ポイントを上回った。生徒の実感と、保護者が道徳に抱くイメージとの間に差があることが読み取れる。22 については全学年保護者、全学年生徒、教職員ともに 3.0 ポイントを上回った。今後は引き続き、道徳教育を学校の教育活動全体を通じて行い、自らの大切さや他の人の大切さを認められるような環境づくりに取り組んでいきたい。また、学校ホームページ等を積極的に活用し、日々の道徳教育について情報発信をしていくことに努めていきたい。 |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |    |                                            |
| 学びづくり                                                                                                                                                                                                                                                                    | 校内研究                                                                                                                                                                                                                                                                                | 23 | 教師は、よりよい授業をつくるために学習に対する生徒の声を聞こうとしている。      |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 24 | 教師は、よりよい授業をつくるために積極的にデジタル環境を活用しようとしている。    |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 25 | 教師は、学習する生徒が主役となる授業を実現するために、積極的に授業研究を行っている。 |
|                                                                                                                                                                                                                                                                          | 3 項目ともに非常に高い結果となった。これは本校の「授業づくりの日」を通じた取り組みなどにより、教職員が生徒とともに授業をつくっているという意識を持てているためと考えられる。また、他県・他地区、町内園・小学校の先生方にも本校の学びづくりに高い関心を寄せていただき、「授業づくりの日」にはともに研鑽を積んでいることもこの評価につながっているものと考えられる。今後は、保護者にも「授業づくりの日」の授業提案やカンファレンスなどを参観していただいたり、学校だよりなどによる発信を充実させたりすることで、学びづくりの土台をより強固なものに成長させていきたい。 |    |                                            |

### 3 学習アンケート結果（生徒）に対する分析と方向性

|                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                       |                                      |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|
| 学習評価と資質能力                                                                                                                                                                                          | 1                                                                                                                                                                     | 授業のはじめに、どのようなゴールをめざすか「学習のめあて」を示している。 |
|                                                                                                                                                                                                    | 2                                                                                                                                                                     | 授業者は、単元の最後に学んだことを振り返る学習活動を取り入れている。   |
|                                                                                                                                                                                                    | 1 と 2 は、学習者が主体的に学習に取り組むうえで重要なプロセスである。多くの教科で肯定率 80%を超えているが、肯定率が低い教科については改善が必要である。「学習のめあて」はどのような資質・能力を身に付けさせたいのか・発揮させたいのかを生徒に口頭で確認するとともに、板書や単元デザインシートなどで示すことを大切にしていきたい。 |                                      |
|                                                                                                                                                                                                    | 3                                                                                                                                                                     | 授業者は、テストや成果だけでなく、授業での学習の積み重ねを重視している。 |
|                                                                                                                                                                                                    | 4                                                                                                                                                                     | 授業者は、授業で身につけたい力やその例などを示している。         |
| 学習指導要領に示された 3 つの資質・能力を育成し、それらが発揮されている場面を適切に評価するためには、知識の再現に重点をおいたペーパーテスト依存の評価から脱却できるよう改善が必要である。3 の全学年の肯定率が全教科 85.0%以上だったことには、校内でめざしている授業改善の結果が表れている。4 については、2 年生が他の学年に比べて低い結果となった。授業者が示し方を工夫していきたい。 |                                                                                                                                                                       |                                      |

|                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                               |
|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 学<br>び<br>に<br>向<br>か<br>う<br>力                     | 5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 学習者は、授業で出された問いの意図を受け止め、熱心に取り組んでいる。            |
|                                                     | 6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 計画的に課題が解決できるよう、自分で学習を調整している。                  |
|                                                     | 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 家庭での授業準備やチャイム前着席など、基本的な学習習慣が身についている。          |
|                                                     | 概ね肯定率は 80%以上であるが、6 についてはどの学年も肯定率が低下している。学習者自身の工夫や努力も求められるが、各教科で単元計画の中に自己の学びを調整するような活動を行うことを授業者が意識していきたい。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                                               |
| 授<br>業<br>づ<br>く<br>り<br>・<br>単<br>元<br>づ<br>く<br>り | 8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 授業者は、iPad やC ラーニングなどを活用し、学習者が主体的に学べるよう工夫している。 |
|                                                     | 9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 授業者は、学習者が考えたり表現したりする時間を授業で十分に確保している。          |
|                                                     | 10                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 問いの解決についてペアやグループ、C ラーニングで意見交換することができる。        |
|                                                     | 11                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 授業者は、知識だけでなく、考えたり表現したりする力が身につく授業づくりをしている。     |
|                                                     | <p>8、9 については、各学年ともに、肯定率が 84.0%を上回った。多くの教科でDX※の推進が見られ、多様な方法で学習者の考えを発信することや、他の学習者の考えを共有することが多くなったためと考えられる。</p> <p>10 については、授業者が意識的に授業改善を行わないと成果が表れにくい項目であるため、教科や学年によって肯定率が 50.0%前後のものも見られる。今後は授業者が意識的に授業改善を図っていきたい。</p> <p>11 については、各学年ともに全教科で肯定率が 80.0%を上回った。これは本校が取り組んでいる知識ベースの授業からの脱却を図り、学習者が課題意識を捉えて意見共有する授業を展開していることが起因していると考えられる。今後も学習者が主役となり、考えたり表現したりする力が身につく授業づくりを行えるよう、本校の学びづくりを組織的に推進していきたい。</p> <p>※DX＝「Digital Transformation」の略称で、デジタルによる変革のこと。学校においてはデジタルの効果的な活用により、より良い教育活動を行うこと。</p> |                                               |